



いすみ議会だより

発行：いすみ市議会 編集：議会だより編集委員会 2007. 5. 1 発行
〒298-8501 千葉県いすみ市大原7400番地1 TEL 0470-62-1406 (議会事務局)

ホームページアドレス <http://www.city.isumi.lg.jp/> メールアドレス gikai-gizi@city.isumi.lg.jp



今年も良い米が獲れますように(大型圃場での田植え 八乙女地区)

主な内容

- 平成19年第1回定例議会概要 2ページ
- 平成19年度予算のあらまし 2ページ
- こんなことを決めました 3ページ
- 委員会審査報告 5ページ
- 一般質問 7ページ

第6号

平成19年
第1回 定例議会

平成19年度予算が決まりました

一般会計予算は136億7,200万円（前年比3%増）

第1回定例議会は2月26日から3月20日までの23日間の会期で開催されました。

この定例議会で審議された議案は、平成19年度一般会計予算をはじめ、4つの平成19年度特別会計予算や、平成18年度補正予算、また、条例の新規制定議案や一部改正議案等の32議案が提出され、いずれの議案も原案のとおり可決・同意・承認されました。ほかに、陳情1件を採択し、いすみ市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正ほか2件の議員から提出された議案についても、それぞれ原案どおり可決されました。

さらに、県内全市町村で組織する千葉県後期高齢者医療広域連合の議会議員を各市町村議会より1名ずつ選挙することとされており、いすみ市議会からは、所管の民生環境常任委員長である松崎敏雄議員が選出されました。

一般質問は、10人の議員が行い、市政に関する諸問題について活発な議論が展開されました。

平成19年第1回定例議会

当初予算ほか36件を審議

平成19年度 予算のあらまし

一般会計	136億7,200万円
国民健康保険会計	54億4,103万6千円
老人保健会計	46億 729万6千円
介護保険会計	24億5,459万8千円
水道事業会計	収益的支出 17億8,911万円
	資本的支出 4億2,344万1千円

3月定例議会では こんなことを決めました

議案の内容

市長提出議案

- ◎専決処分の承認(平成18年度
一般会計補正予算)【承認】
〔委員会付託省略〕
- ◎いすみ市安全で安心なまち
づくり条例の制定【可決】
〔付託委員会〕
総務常任委員会
(市内において空き巣、車
上狙いなどの様々な犯罪が
発生し、市民生活の安全が
脅かされている状況にある
ことから、市、市民及び事
業者、それぞれの役割を明
確にし、連携を強化するこ
とにより、安心して暮らせ
る地域づくりを推進するた
め制定したものです。)
- ◎いすみ市副市長の定数を定
める条例の制定【可決】
〔付託委員会〕
総務常任委員会
- ◎いすみ市ウミガメ保護条例
の制定【可決】
〔付託委員会〕
産業建設常任委員会
(ウミガメは市の豊かな自
然環境を構成する貴重な野
生生物であり、かつ、学術
的及び文化的価値を有する
ことから、市及び市民等が
一体となってその保護を図
り、将来の市民にこれを共
有の資産として継承するた
め制定したものです。)
- ◎地方自治法の一部を改正す
る法律の施行に伴う関係条
例の整備に関する条例の制
定【可決】
〔付託委員会〕
総務常任委員会
(地方自治法の一部改正に
伴い、監査委員の定数が法
律により定められたこと、
助役の名称が副市長に変
更されたこと及び吏員とそ
の他の職員の区分が廃止さ
れ、職員に一本化されたこ
とから、「いすみ市監査委
員条例」、「いすみ市特別職
報酬等審議会条例」、「いす
み市特別職の職員の給与及
び旅費に関する条例」及び
「いすみ市税条例」の条文
の整備等をしたものです。)
- ◎いすみ市特別職の職員で非
常勤のもの等の報酬及び費
用弁償に関する条例の一部
改正【可決】
〔付託委員会〕
総務常任委員会
(社会福祉法人等が、道路
運送法に基づく福祉有償運
送の登録を運輸局に申請し
ようとする際に、その必要
性、安全性の確保、及び旅
客の利便の確保等について
協議するための福祉有償運
送運営協議会委員、並びに、
- ◎いすみ市一般職の職員の給
与等に関する条例の一部改
正【可決】
〔付託委員会〕
総務常任委員会
(人事院勧告を受け、少子
化対策に配慮し、扶養手当
の額を改正したものです。)
- ◎いすみ市国民健康保険税条
例の一部改正【可決】
〔付託委員会〕
民生環境常任委員会
(経過措置として、不均一
課税の期間中の本市の区域
内において、転居した納税
義務者に対して課する国民
健康保険税について、適
用すべき条例を定めてあっ
たが、この期間を2年間延
長するよう改正したもので
す。)
- ◎いすみ市青少年問題協議会
設置条例の一部改正【可決】
〔付託委員会〕
- ◎いすみ市公民館の設置及び
管理に関する条例の一部改
正【可決】
〔付託委員会〕
文教常任委員会
(設置以来44年を経過し、
老朽化が進み、公民館と
しての使用に耐えられなく
なったため、東公民館を廃
止したものです。)
- ◎いすみ市放課後児童健全育
成事業に関する条例の一部
改正【可決】
〔付託委員会〕
民生環境常任委員会
(児童福祉法の規定に基づ
き、昼間保護者等のいない
家庭の小学校低学年児童に
対する安全確保と適切な遊
び及び生活の場を与え、そ
の健全な育成を図るため、
現在市内3箇所を設置して
いる放課後児童クラブに、
新たに東小学校内の渡邊
兄妹記念図書館に、放課後
児童クラブ「あずまこども

ルーム」を増設するよう改正したものです。）

◎いすみ市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部改正【可決】
〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

（障害者自立支援法の制定に伴い、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法の一部が改正されたことによる条例の改正と、結核予防法が廃止されることに伴い条例の一部を改正したものです。）

◎いすみ市道路占用料徴収条例の一部改正【可決】
〔付託委員会〕

産業建設常任委員会

（道路法施行令の一部改正に伴い、条文の整備をしたものです。）

◎いすみ市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正【可決】
〔委員会付託省略〕

〔委員会付託省略〕

（地方自治法施行令の一部改正に伴い、条文の整備をしたものです。）

◎平成18年度いすみ市一般会計補正予算【可決】
〔委員会付託省略〕

〔委員会付託省略〕

◎平成18年度いすみ市国民

健康保険特別会計補正予算

【可決】

〔委員会付託省略〕

◎平成18年度いすみ市老人保健特別会計補正予算【可決】
〔委員会付託省略〕

◎平成18年度いすみ市介護保健特別会計補正予算【可決】
〔委員会付託省略〕

〔委員会付託省略〕

◎平成18年度いすみ市水道事業会計補正予算【可決】
〔委員会付託省略〕

◎平成19年度いすみ市一般会計予算【可決】
〔付託委員会〕

〔付託委員会〕

各委員会の所管ごとに分割付託

◎平成19年度いすみ市国民健康保険特別会計予算【可決】
〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

◎平成19年度いすみ市老人保健特別会計予算【可決】
〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

◎平成19年度いすみ市介護保険特別会計予算【可決】
〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

◎平成19年度いすみ市水道事業会計予算【可決】
〔付託委員会〕

〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

◎夷隅郡市広域市町村圏事務組合規約の一部改正に関する協議【可決】
〔委員会付託省略〕

〔夷隅郡市広域市町村圏事務組合の事務所の移転に伴い、規約の一部を改正する必要がある、構成市町村における議決を求められたものです。〕

◎経営体育成基盤整備事業（北中村地区・北中村工区及び峰谷工区）に伴う字の区域及び名称の変更【可決】
〔委員会付託省略〕

〔施工の結果、字界変更の必要が生じたために、地方自治法の規定により議決を求められたものです。〕

◎経営体育成基盤整備事業（北中村地区・北中村工区及び峰谷工区）に伴う字の区域及び名称の変更【可決】
〔委員会付託省略〕

〔施工の結果、字界変更の必要が生じたために、地方自治法の規定により議決を求められたものです。〕

◎いすみ市固定資産評価審査委員会委員の選任【同意】
（渡辺和芳氏 新任）

◎人権擁護委員候補者の推薦（2件）【同意】
（太田防夫氏 再任）
（酒井辰彌氏 新任）

◎いすみ市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正【可決】
〔委員会付託省略〕

（政務調査費の用途の透明性を図ることを目的に、収支報告をする際、収支報告

陳情

◎安全・安心の医療と看護の実現を求める意見書について【採択】
〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

選挙

◎千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
（千葉県において、平成19年1月1日から千葉県後期高齢者医療広域連合が設置され、規約で定められた広域連合議会議員1名の選挙を行い、松崎敏雄議員を当選人としたものです。）

◎安全・安心の医療と看護の実現を求める意見書【可決】
〔委員会付託省略〕

（陳情の願意に沿い、将来にわたって国民誰もが安心して質の高い医療・看護などを等しく受けられる機会を確保するため、医師・看護師の確保対策の充実強化を図るための緊急対策を講じるよう関係省庁等に意見書を提出するものです。）

人事案件

議員提出議案



委 員 会
審 査
報 告

3月6日と8日に、付託された議案等を審査するため各常任委員会が開催されました。

委員会に付託された案件の審査概要は次のとおりです。

総務常任委員会

議案6件について審査を行いました。

議案第2号 いすみ市安全で安心なまちづくり条例の制定、議案第3号 いすみ市副市長の定数を定める条例の制定、議案第5号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する

る条例の制定、議案第6号

いすみ市特別職の職員で非常勤のもの等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定及び議案第7号 いすみ市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、採決の結果は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第19号 平成19年度いすみ市一般会計予算中、本委員会の所管するものについては、財政調整基金繰り入れの今後の増加見込みについて、不納欠損処分状況について、長者地区の市有建物解体工事後の当該土地の利用計画について、市内交通運行業務のスタート時期について、地図情報システムの内容及び使用途について、災害備蓄物資の消費期限のあるものの処理について、津波・洪水ハザードマップ作成業務完了後の住民への配布時期について等の質疑があり、採決の結果は賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

平成19年度予算執行にあたり、委員会として次の事項について指摘・要望しました。

- 1、国による税改正が行われる中、市の財政状況は依然として基金の繰り入れや臨時的な収入により財源を確保している状況にあり、一段と厳しさを増している。合併による効果や、行財政改革により人件費等の義務的経費も減少しているが、一方、行政需要の増大による経費負担も増加しているものと思われる。財政の好転は見込める状況にはない中で、引き続き創意工夫され、一層の行財政改革に取り組みられるとともに、基金の取り崩しに当たっては慎重を期すこと。
- 2、各種電算処理システム関連経費が計上されているが、各システム使用料、保守委託料経費の増高を抑えるべく、今後、業者との交渉の中で経費の縮減に努力すること。

民生環境常任委員会

議案8件、陳情1件について審査を行いました。

議案第8号 いすみ市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定については、異議なく、採決の結果は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第11号 いすみ市放課後児童健全育成事業に関する条例の一部を改正する条例の制定については、各小学校単位での実施の可能性についての質疑があり、採決の結果は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第12号 いすみ市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定については、異議なく、採決の結果は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第19号 平成19年度いすみ市一般会計予算のうち、本委員会の所管するものについては、少子化で定員割れした保育所が見受けられる中で、

の、統廃合や保育全体のあり方について、福祉タクシー助成金で、下肢3級の障害者の助成が外されているがその理由について等の質疑があり、採決の結果は賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第20号 平成19年度いすみ市国民健康保険特別会計予算については、ヘルスアップ事業の内容についての質疑があり、採決の結果は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第21号 平成19年度いすみ市老人保健特別会計予算については、異議なく、採決の結果は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第22号 平成19年度いすみ市介護保険特別会計予算については、現状の保険料での会計の維持について、寝具丸洗い乾燥消毒事業の見込み件数について、地域包括支援センターの新規立ち上げについての質疑があり、採決の結果は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第23号 平成19年度い
すみ市水道事業会計予算につ
いては、大原地区と岬地区の
連絡管布設方法について、ま
た、浄水場の汚泥処理につ
いての質疑があり、採決の結
果は全会一致で原案のとおり
可決すべきものと決定しまし
た。

陳情第1号 安全・安心の
医療と看護の実現を求める陳
情書については、全国の医療
現場の問題であり、夷隅郡市
においても同様の問題でもあ
ることから全会一致で採択と
決定しました。

平成19年度予算執行に当た
り、委員会として次の事項に
ついて指摘・要望しました。

1、各種協議会での会議結果
について、協議会終了後に
委員会において内容を報告
すること。

2、各種検診について休日実
施のニーズがあるが、実現
に向けて検討すること。

3、福祉タクシー券1枚の
助成額について、利用しや
すいようにチケット制、若
しくは、単価を下げ利用回

数を増やすよう検討するこ
と。

4、各種福祉サービスについ
て、健康管理の面からも更
に広く周知を図ること。

5、水道事業において、経費
節減のため全部の浄水場の
汚泥売却が可能となるよう
処理・利用方法について検
討すること。

産業建設常任委員会

議案3件について審査を行
いました。

議案第4号 いすみ市ウミ
ガメ保護条例の制定について
は、異議なく、採決の結果は
全会一致で原案のとおり可決
すべきものと決定しました。

議案第13号 いすみ市道路
占用料徴収条例の一部を改正
する条例の制定については、
異議なく、採決の結果は全会
一致で原案のとおり可決すべ
きものと決定しました。

議案第19号 平成19年度い
すみ市一般会計予算のうち、
本委員会の所管するものにつ
いては、道整備交付金の内容

について、現在、全国で被害
が発生している金属類の盗難
の状況と対策について、観光
協会の統合について、商工会
の合併を機に市内全域で使用
できるチケットの導入に関す
る働きかけについて等の質疑
があり、採決の結果は全会一
致で原案のとおり可決すべき
ものと決定しました。

平成19年度予算執行に当た
り、委員会として次の事項に
ついて指摘・要望しました。

1、今後の市の観光政策推進
のため、観光協会一本化に
向けての検討について更な
る努力をすること。

2、各種団体等の補助金につ
いて、小額の補助金が見受
けられるが、今一度、採択
基準及び補助効果の検証に
ついて検討すること。

文教常任委員会

議案3件について審査を行
いました。

議案第9号 いすみ市青

少年問題協議会設置条例の一
部を改正する条例の制定につ
いては、異議なく、採決の結
果は全会一致で原案のとおり
可決すべきものと決定しまし
た。

議案第10号 いすみ市公民
館の設置及び管理に関する条
例の一部を改正する条例の制
定については、用途廃止する
施設の撤去についての質疑が
あり、採決の結果は全会一致
で原案のとおり可決すべきも
のと決定しました。

議案第19号 平成19年度い
すみ市一般会計予算のうち、
本委員会の所管するものにつ
いては、市内の教育施設にお
ける今後のアスベスト除去工
事等の予定について、オーブ
ンスタディ講師の身分・立場、
人員確保について、遠距離通
学児童送迎バス運行の対象地
区について、岬中学校新築工
事実施設計等業務内容につい
て、第65回国民体育大会ホッ
ケー競技に関する今後の予定
とその予算について、学校給
食センターの燃料費の購入先
選定について、通学合宿事業
の内容について等の質疑があ
り、採決の結果は全会一致で

原案のとおり可決すべきもの
と決定しました。

平成19年度予算執行に当た
り、委員会として次の事項に
ついて指摘・要望しました。

1、体験農業について、市内
11校で実施されていると聞
いているが、対応が統一さ
れていないので、教育費予算
に計上し、統一して実施す
べきではないか。また、体
験農業だけでなく、環境美
化運動等の課外活動も一部
の学校では実施していた
が、良いものは市内の全学
校に広める考えで、今後も
検討すること。

2、公民館事業の中で、同一
事業でありながら、取扱い
が統一されていないものが
見受けられる。早期に事業
の取扱いを統一し、事業の
見直しや経費節減に努力す
ること。



Q&A 一般質問 市政をきく

3月定例議会の一般質問は、3月1日に市政に関する諸問題について質問が行われました。

ここでは、紙面の関係で要約した質問及び答弁の一部を掲載いたします。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。(3月定例議会の会議録は5月下旬に公開を予定しています。)

有害鳥獣駆除について

石井 博 議員

石井議員 有害鳥獣駆除のハ
ンターの手当、補償等は他
の市町と比べてどのように
なっているか。

また、今後の駆除対策は、
産業建設部長 有害鳥獣の駆
除は、いすみ市猟友会員で
組織するいすみ市有害鳥獣
駆除隊に駆除委託をしてい
ます。他の市町と比較して、
委託料が当市の234万円に対
し、勝浦市47万5千円、大
多喜町34万4千円で、いす
み市が少なく感じられる
が、一斉捕獲活動の日数、出
動人数や捕獲頭数に差異が
あり、いすみ市は、捕獲檻は
市で購入し駆除隊に貸与し
ているが、他の市町は委託
費の中で購入するなど委託
内容に違いがあります。
また、捕獲補償金はイノ

シシは大多喜町で8千円で
あり、勝浦市、御宿町はいす
み市と同額の7千円となっ
ています。小動物は、勝浦
市はいすみ市と同額の2千
円ですが、大多喜町や御宿
町は支払いがありません。
日当は、各市町とも委託費
の中で、猟友会から駆除従
事者に支払いをしています。

現在は、市と駆除隊が委
託契約を結び、年間の作業
計画を立て、一斉駆除の実
施や市民からの要望によ
り被害地域に檻の設置を行
い、駆除を行っています。

また、野生獣の被害の防
護対策として簡易電気柵を
平成17年度2基、平成18年
度38基を設置し、今後も要
望に応え設置していく考え
です。

今後の対策として、県中
南部地域20市町村で構成す
る、千葉県中南部地域野生
獣対策会議で、情報交換や
県への財政的支援などの
要望活動を実施するととも
に、県及び関係団体で構成
する千葉県野生鳥獣対策本
部と連携をとり、捕獲や防

護対策を進めていきたい。

今後有害鳥獣の被害
が拡大することが予想さ
れることから、平成18年1
月に設置した、猟友会及び
関係機関で構成する「いす
み市有害鳥獣対策協議会」
の委員に、夷隅農林振興セ
ンター及び東上総県民セン
ター夷隅事務所の専門職員
並びに被害の多い地域の代
表者等を加え、協議会の組
織強化を図り、被害状況に
即した具体的な被害防止対
策を実施したいと考えてい
ます。

【石井議員は、この質問のほ
か、「いすみ市活性化対策
について」質問しました。】

市内交通体系の 確立について

岩井 豊重 議員

岩井議員 市内交通体系の確
立について、経過と現段階
での進捗状況について伺い
たい。

総務部長 旧3町の交通形態
がさまざまなことから、平
成18年度において交通に係
わる各種の現状調査を実施
するとともに、市内交通シ



▲捕獲されたイノシシ

システム調査委員会及び福祉移送サービス事業検討委員会を設置し、委員に検討いただいたところす。

市内交通システム調査委員会では、現状調査を参考に現行の交通形態を根本から見直し、新市としての交通形態のあり方を研究するとともに、市民の皆様にとって便利で利用しやすい交通形態の実現に向けて検討いただきました。その結果、バス運行による交通網を構築することが最良であるとの答申を受けたところす。

具体的な事業内容ですが、通勤・通学・通院・買い物等を始め交通弱者対策及び高齢者の交通安全対策を念頭に、市内全域をめぐる循環型バスと併せて各地域を巡回する巡回型バスの運行を行い、JRR外房線との接続やいすみ鉄道との接続を図ることにより、鉄道事業とバス事業が共存共栄できる交通網を整備し、身近なところから目的地に行け、市民にとって便利で利用しやすい交通網の構築を

計画実施していく考えです。

また、福祉移送サービス事業検討委員会においても、福祉タクシーの充実等を協議いただき、調整のうえ、4月から実施を予定しています。今後、市内交通システム調査委員会からの答申をもとに、平成19年度に入りまして国土交通省から示されている「地域公共交通会議の設置及び運営に関するガイドライン」に沿い、関東運輸局千葉支局を始めバス運行事業に係わる各種関係機関で構成される地域交通公共会議を設置し、委員会の答申をもとに、運賃あるいは料金、事業計画、運行計画等について協議及び調整を図り、各種手続を行い、平成19年12月の実証運行に向けて作業を進めていきます。

【若井議員は、この質問のほか、「市民の生活実態について」、「市民の健康を守るために」、「ゴミ収集について」質問しました。】



▲夷隅と茂原駅をつなぐ「いすみシャトルバス」

住民検診について

高 梨 庸 市 議 員

高梨議員 基本健康診査の受診者負担の徴収による受診者数の推移を、合併前の受診者数と比較して伺いたい。

さらに、受診者負担を引き下げたときの受診者の効果予測を伺いたい。

また、大腸がん検診の検査用具の配布方法と受診者数の実態について伺いたい。

市民生活部長 平成18年度の健康診査の対象者は5,216人、受診者は3,386人で受診率が64・9%になり、前年度受診率と比較すると1・5%の減少となりました。

受診者が減った理由としては、料金を有料化したことも影響していると思われるが、それ以外に検診時期に体調を崩したり、受け忘れたなどが考えられます。料金を引き下げ、受診者

負担の軽減を図り、健康診査の充実及び受診率の向上を図っていく方針ですので、当然受診者の増が予想されます。これにより、より多くの方が受診することで疾病の早期発見につながり、医療費の削減も見込められると思われます。

さらに、多くの人が受診することによって平成20年度から導入される健康で病気になる市民づくりの基礎資料データ収集の一助となることが期待されることす。

大腸がん検診の検査用具の配布方法と受診者数の実態は、合併前の旧大原町、旧夷隅町では、問診票と共に検査容器を送付しており、未回収検査容器が多数ありましたが、旧岬町では、検診会場で検査方法を説明し、検査容器を配布していたため、未回収検査容器は一番少なく、現在いすみ市ではこの方法で実施しています。

なお、平成18年度の大腸がん検診の対象者は6,644人、受診者3,809人で受

診率が57・3%となりまして、

【高梨議員は、この質問のほかに、「市有地の活用について」、「観光事業について」、「道路網整備について」質問しました。】



熱田議員 最近、森林資源が注目され、里山保全と森林資源の活用を本格的に考え、まちおこしに活かすべくであり、都市との交流の場としても活かせるものと考えられるがどうか。

産業建設部長 いすみ市の約半分は森林であり、地域森林計画の中で見ると、伐採林齢適齢期を過ぎた森林も多く見受けられます。しかし、林業を行う人も少なく、森林の手入れができない状

況であり、一部の地権者は千葉県森林組合に委託し、計画的に実施しているところもあります。

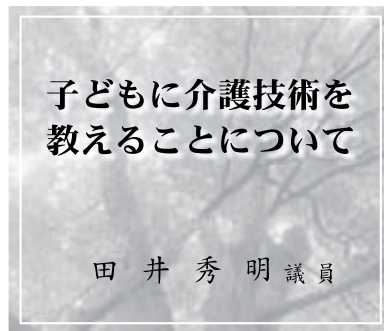
市内では里山活動協定を結んだ桑田里山の会、不二の会、桜の里岡谷をつくる会の3団体と中山間地域での里山活動を実施している市野々里山の会の合計4団体で森林保全活動を実施しており、炭焼きや間伐作業などを通じ、地域住民や都市住民の交流が図られています。

今後とも千葉県森林組合や林業普及員など関係機関の指導を受け、間伐材などの林業副産物を利用した活動について研究していきたいと考えています。

また、里山の管理が進むことにより、野生鳥獣の被害も減少させることができるものと考えられ、このような里山活動団体が増えることは望ましいことであり、市としてできるだけ支援をしていきたいと考えています。

【熱田議員は、この質問のほか、「予防福祉の推進につ

いて」、「交通弱者対策について」、「水育・農育について」質問しました。】



田井議員 要介護者の需要・

ニーズに対して、対応する介護の手が不足してきていますが、この問題を克服するために小学校5年生から中学校2年生までの全ての子どもたちに介護技術を修得させる授業を受けさせるよう制度化してはどうか。

教育次長 介護についての学習が具体的に出てくるのは高等学校の学習指導要領です。その学習指導要領には、社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的、体験的に習得させ、社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会

福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な態度と実践的な態度を育てるようになっていきます。

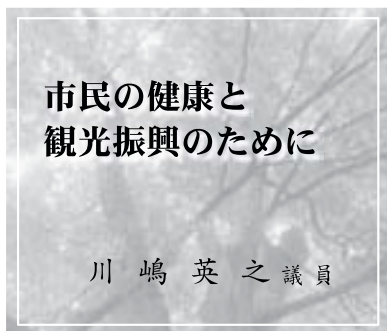
従って、小中学校では、その前段階の学習や実践を行うことが大切と考えています。

現在、教育委員会では、福祉教育の充実を教育施策の中に位置づけ、高齢者との交流を積極的に進めています。市内小中学校では、将来介護に繋がる素地づくりとして、総合的な学習の時間や道徳の時間、特別活動等を通じて体験的な福祉教育を進めています。具体的には、高齢者とお飾りづくりやふれあいグラウンドゴルフ、高齢者家庭の訪問や高齢者宛の手紙運動、また、運動会や学習発表会へ高齢者を招待したり、介護施設の訪問を通してなどにより、高齢者を敬いいたわる気持ちを育てています。

要介護人口が増加する中で、まず小中学校でお年寄りとの交流を深め、将来介護に繋がる素地を育てる福祉

教育を推進していくことを重点としています。

【田井議員は、この質問のほか、「学校給食費の滞納状況について」、「教育機関における裁量の予算権限について」、「学童保育のガイドラインについて」、「子どもの虐待防止の体制について」、「生徒への救命救急術を教えることについて」、「国保国吉病院について」、「刑務所誘致について」、「ペットの不妊手術の補助について」、「市の広告収入について」質問しました。】



川嶋議員 市民の健康づくりを一層進めるため、市内に多くのウォーキングコースを造ってみてはどうか。加えて、市内一巡等のコース

をつくることで、観光の目玉として魅力あるいすみ市になると思うが。

市長 住民の健康保持増進のために、日常生活において個々における健康づくりは欠くことのできないことです。現在あまり歩かなくなるなど、身体を動かす機会が少なく運動不足となり、その結果、生活習慣病予備軍が増加してきています。市民一人ひとりが適切な運動習慣を身につけていくことが大切なことであり、日常生活において簡単に

運動ができ、長続きできるウォーキングを取り入れることは非常に良いことだと思います。

現在、市で考えているコース案として、1つは岬町和泉の太東海水浴場周辺から灯台、大原の八幡岬周辺、浪花の岩船地蔵尊周辺、山田の鉄造仏頭周辺、万木の万木城跡公園周辺、日在観音周辺、岬町三軒屋海岸から大原海水浴場方面等の7コースを予定しています。今後、さらに検討を重ね、

コースを市内にめぐらし、このコースの中に文化財等の地域資源を取り入れながら、自然環境の恵まれた地域の中のコースをつくり、市民の健康と同時に観光に寄与するようなコースの設定を進めていきたいと考えています。

【川島議員は、この質問のほか、「太東埼灯台に入る市道の拡幅工事と新堰の埋め立てについて」質問しました。】



▲岩船地蔵尊



▲太東埼灯台より三軒屋海岸を望む

行政執行の 基本姿勢について

荒井 正 議員

荒井議員 行政評価システムの導入について、どのような準備がされているか、市民オンブズマン制度を検討し、導入するような考えがあるか。

また、まちづくり委員会などを組織する必要性はないか。

さらに、職員の資質向上について検討されているか伺いたい。

市長 市政は市民が主役であり、市役所は市民に対するサービス業であり、市民の日々の生活の中で生まれる悩み、願い、苦しみをしっかりと受けとめ、温かい血の通った市政を実現するため、私は市民の生の声を聞くことに心がけ、常に市民と同じ目線で市政を運営す

ることを基本に厳しい財政状況のもと限られた財源を有効に活用し、行政サービスを提供していくことが重要であると考えています。

合併のメリットを最大限に発揮させ、簡素で効率的な組織の構築を目指した財政健全化を推進する指針として、昨年10月に「第1回いすみ市行政改革大綱」をつくり、これに基づき具体的な実行計画として「いすみ市集中改革プラン」を同時に策定し、その目標達成に向けて取り組んでいるところでです。

行政評価システムの導入については、試行の段階ですが、昨年6月にこの制度を導入し、現在職員一丸となつて取り組んでいます。

この制度を充実させるため、さらに研究しながらより良いシステムとして、市民の側に立った行政運営の実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

また、市民オンブズマン制度の導入を考えてはということですが、多様化する市民の要望等に応え、より

透明性の高い行政運営を進めていくためには、市民と行政が一体となってまちづくりを進めていくことが必要であり、現在類似の制度として苦情処理の面では、行政手続条例等各種のものがあります。

今後この制度については研究していきたいと考えています。

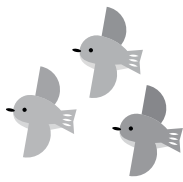
まちづくり委員会の必要性については、将来のいすみ市のまちづくりを考えていく上では、各分野及び市民代表等による幅広い層からの意見を聞きながら議論を重ね、住みよいまちづくりを進めていくことが重要であると考えていますので、いすみ市の将来ビジョンを市民と共につくり上げるためにも必要なことであると考えています。

職員の資質向上については、現在千葉県自治研修センター及び広域市町村圏事務組合で職員研修を実施していますが、今後さらに地方分権が推進され、地方行政を取り巻く環境はかつてないほどの速さで変化し

ていくと予測されます。市民ニーズに適切に応え、真の地方分権を実現するため、新たな視点に立った行政運営、公共サービスの提供は不可欠であり、職員の意識改革及び職員のスキルアップが求められています。

こうしたことから、地方分権時代にふさわしい自治体職員の育成を図るため、これまで以上に自己啓発を基本としつつも、各種研修や講演会に参加できる機会を与え、資質向上に努めたいと思います。

【荒井議員は、この質問のほか、「入札制度改革について」、「生活道路整備、下水処理について」、「林道日在高谷線について」、「男女共同参画について」、「福祉の充実について」質問しました。】



産業振興政策について

横山正樹 議員

横山議員 市内産業の活性化による働く場の拡充、新しい産業の奨励等の政策や方向性についてどのように進めていくのか伺いたい。

市長 千葉県においては平成17年度以降、有効求人倍率が上向いているものの、その水準は全国平均を下回り、関東1都6県の中でも最も低い有効求人倍率となっています。当いすみ市においても、都心部との格差により、地域経済の低迷から脱却できず、地域産業も依然厳しい状況にあります。そのような中で、働く場の拡充及び新しい産業の確立等は重要な課題であり、夷隅、大原、岬が合併していすみ市となって広がりもでき、またある意味では

色々なものが厚みを増しています。その厚みを増したいすみ市の特性を活かした産業振興策の展開がこれから重要な地域づくりの基本であると考えています。

この豊かな自然と多様な農水産物、そしてまた地元の商業関係を持ついすみ市には大きな可能性があり、この可能性をどう形づくっていくかをみんなで考える時であり、どのようなまちづくりの方向性を示すのか、守るべき地域をどうするのか、地域資源をどう生かす魅力を高めていくか、また市内の守り残すべき景観をどのようにしていくのか、土地利用のあり方をどうしていくのか等が重要なことだと考えています。

この取り組みを行政、市民、関係団体、広くは国・県の協力と支援を受けながら、新しいいすみ市の地域づくりに向けて努力していきたいと考えています。

【横山議員は、この質問のほか、「観光政策について」、「道路政策について」質問しました。】

少子化対策と人口増について

鈴木麗子 議員

鈴木議員 「女性・高齢者・若者」を対象とした施策の展開を積極的に検討すべきと考えるがどうか。

市長 人口の減少という問題は、いすみ市に限らず全国の自治体が抱える問題でもあります。これまで我が国では、開発を基調とした成長・拡大型によって人口を増大させようとする都市政策が採用されてきました。が、高度経済成長期を経て、モータリゼーションの発達による車を前提とした土地利用や産業構造の変化、さらには少子・高齢化社会の到来など社会生活は大きな変化を遂げてきています。

いすみ市の人口フレームを見ると、平成18年10月1日現在の数値で、4万3,309

人ですが、将来人口推計によると、平成27年には4万475人に、高齢化率は推定で35・5%程度になると見込まれます。

このように少子・高齢化の影響による人口の減少というものが、地域に暮らす人々の生活を支える活力の低下に繋がるものと考えられます。

今後、いすみ市のまちづくりの中で地域資源を活用しながら、若者や女性、高齢者を取り込み、経済に活力を与えるとともに、生活環境整備をすることがいすみ市の人口減少の歯止めになり、まちづくりの一つの方法と考えています。

これに対応した対策として、男女共同参画の推進や高齢者の生きがい対策、若者を含めた定住対策、そして他の地域にない子育て支援対策、そして健康づくり、これを積極的に進めていきたいと考えています。

【鈴木議員は、この質問のほか、「介護予防対策の推進について」、「漁港を活用した海の駅について」、「広域

ゴミ処理施設の進捗状況について」質問しました。】



中村議員 天然の漁業資源の減少は全国的なもので、イセエビの資源にしても例外ではないことから、将来的な資源の維持に対して早急な措置が必要ではないかと思われま。当地の漁業の重要な位置にあるイセエビの資源維持、漁獲量の維持についての市の考えを伺いたい。

産業建設部長 いすみ市のイセエビにつきましては、首都圏などでの各種イベントを通してPR活動を実施し、千葉ブランド水産物としても認定され、その知名度も向上しているところで。また、水揚げ量は全国

1位で夷隅東部漁業協同組合の水揚げ高の約4割を占め、非常に貢献している魚種です。

現在、市では水揚げされた規格外である13センチ以下のイセエビを再放流するための補助事業として、組合に対して海水魚貝類放流事業補助金を交付し、資源維持に努めているところで

今後も引き続き補助事業を実施し、安定した漁獲に繋がるよう、夷隅東部漁業

協同組合と県関係機関相互に連絡をとり、水産資源の維持に努めていきたいと考えています。

【中村議員は、この質問のほか、「漁業後継者の育成対策について」、「遊漁船のPRについて」、「夷隅東部漁協大原事務所の老朽化に伴う海の駅構想について」、「風力発電事業について」、「大原漁港へのかつお船誘致事業について」質問しました。】



▲水揚げ量全国1位を誇るイセエビ

編集後記
この議会だよりが皆様のお手元に届く頃には、田植えも一段落していることと存じます。

平成19年度の各予算が23日間に及んだ第1回定例議会でも決され、新年度がスタートしておりますが、現在の財政状況は、申し上げるまでもなく依然厳しい状態が続いております。

そんな状況の中ではありますが、限られた予算の中で最大の効果を上げるべく、市当局と議会が一丸となつて努力していかねければと再認識したところでございます。

一般質問を行った議員も10名と、議会の審議も活発化してきています。市のホームページより会議録をご覧になることができますので是非ご利用ください。

また、議会の傍聴はどなたでもできます。日程等、詳しくは議会事務局へお問い合わせください。 ☎ 62-11406

次の定例議会は
6月12日から
開催される予定です。